

日本語教育通信

国際交流基金 | The Japan Foundation

発行・編集 国際交流基金
日本語国際センター
編集協力 国際文化交流推進協会

「秋の遠足」

おお、しゃれ

阿刀田 高
あとうだ たかし

「教養あるね。いつから?」「今日よ」

あるいは、また、

「奥さん、どこの生まれ?」「名古屋よ」「道理で、なごやか、だ」

などなどと、笑いが生ずる。おわかりだろうか。前者では、教養と今日よ、が呼応している。後者では、名古屋となごやか、が呼応している。意味のうえではまったくつながりのないことを、発音が似ているということで関連させ、それを楽しむわけである。こうした言葉の遊びを“しゃれ”と呼び、日本人の生活の中では、すこぶる日常的なものである。あまり上等なユーモアではない、という自覚もあって“駄しゃれ”とも言う。“駄”は、つまらないもの、駄目なもの、の意味である。

ほかの言語にも、たとえば英語にも、似たような言葉遊びがあるようだが、日本語ほど多くはあるまい。

日本語は、音の数が少ない。アイウエオ表の51文字、それに濁点と半濁点の25文字を加えて合計76文字で、一応、日本語は表記できることになって

いる。実際に用いる音は、もっと多いけれど、英語や中国語などと比べて、ずっと少ない。少ないから同音異義語が生まれやすい。「貴社の記者、汽車で帰社した」なんて、日本人は耳で聞いて、ちゃんとわかるのである。同音異義語が多いので、すっかり慣れてるのだ。

いま述べた“しゃれ”も、これと深く関係している。似た音が生まれやすく、それに慣れてるからこそ“しゃれ”が楽しめるのだ。

職場を見わたせば、この“しゃれ”をよく言う人が、ひとりやふたり、きっといるだろうし、日本の文芸には、落語は言うに及ばず、和歌などにも、この手法はよく用いられている。“しゃれ”を理解することは、日本語の上級コースとして不可欠である。

さて、埼玉県に行田という市がある。昔は忍と言った。東京を江戸と言ったのと同じである。そこで「ぼつぼつ、行田の米だね」

忍で取れた米なら、忍米、つまり、おしまい、となる。現代では、日本人でも知る人の少ない、古い“しゃれ”である。

(小説家)

おお、しゃれ
阿刀田高 (小説家)

Punning, Folks!
ATOHDA Takashi (Novelist)

読者から / FROM OUR READERS

教育実践レポート⑥ / JAPANESE LANGUAGE TEACHING AROUND THE WORLD
マラヤ大学予備教育課程

University of Malaysia
Special Preparatory Program to Enter Japanese Universities
KIJIMA Hiromi (Lecturer of the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa)

来嶋洋美 (日本語国際センター専任講師)

世界の日本語教材紹介 / JAPANESE LANGUAGE TEACHING MATERIALS AROUND THE WORLD

世界各国で制作された日本語教材
国際交流基金助成日本語教材

Japanese Language Teaching Materials Published in Various Countries of the World

前編 韓国、オーストラリア、マレーシア、カナダ、米国の日本語教材

Part I: Japanese Language Teaching Materials Published in Korea, Australia, Malaysia, Canada and U.S.A.

初級 授業のヒント / Beginning HINTS FOR TEACHING THE JAPANESE LANGUAGE
慣用句を覚えよう(2)

Let's Learn Idioms II

日本語を研究する / RESEARCH ON THE JAPANESE LANGUAGE

第6回 談話分析
ことばはどのように使われているか

Discourse Analysis

西原鈴子 (国立国語研究所 日本語教育センター
日本語教育指導普及部長)

—Unlocking Mechanism of Language Use—
NISHIHARA Suzuko (Director, Department of External Services,
Center for Teaching Japanese as a Second Language, The National
Language Research Institute)

初・中級 写真で見る日本人の生活 / Beginning and Intermediate
高校生の放課後 -- 学校がおわってから

JAPANESE LIFE AS SEEN IN PHOTOGRAPHS

Senior High-School Students' After School Life

—Following the End of the Day at School—

本ばこ (新刊教材・図書紹介) / BOOKSHELF: INTRODUCTION OF NEW TITLES

海外日本語教育 Q & A / OVERSEAS JAPANESE-LANGUAGE EDUCATION Q & A

ニュース・編集部から / MISCELLANEOUS NEWS・FROM THE EDITORS

マークは、読者が教えている生徒のレベルを示します。

mark indicates the level of students whom readers are teaching.

読者から

私は青海民族師範高等専科学校のチベット文学史の先生をしています。以前、研修生として日本に一年間滞在したことがあります。私は日本から帰って来てから、チベット文学史を教えると同時に、チベットの方々にも日本語を教える仕事をしています。日本語とチベット語は、発音も文法も似たところがたくさんあるため、チベット人たちの中でやった日本語教育にはいい結果がでています。

今、全校では日本語を勉強するチベット学生は83名います。そのうち38名は簡単な会話もできるし、簡単な文章も読めます。一番上手な二人は日本へ研修に行くこともできました。私はチベット人の中ではじめて日本語教育をする人として自慢しています。でも、今のところは、ちょっと困るのは先生不足と読物不足です。先週、友達から貴センターが編集した『日本語教育通信』という雑誌を読むことができて、とても嬉しく思いました。私自身の日本語の

勉強にも、学生たちの勉強にもすごくいい教材になります。(青海民族師範高等専科学校 扎布)

私はロシア連邦ヤクート国立大学外国語学部で日本語講師をしています。私の住むヤクーツク市には、大学で日本語・日本事情を教えている3人の日本人以外に日本人は住んでいませんので、日本に関する情報は極めて限られています。日本語教育に関する情報もそうです。ですから『日本語教育通信』はとても重宝しています。とりわけ「授業のヒント」「教材・図書紹介」のコーナーからは得ることがたくさんあります。

私どもの大学では、日本語は外国語学部の第2外国語になっていて、現在約60名の学生が日本語を学んでいます。また、2人の学生が昨年の10月から千葉大学文学部に留学しています。

(ロシア連邦ヤクート国立大学外国語学部日本語講師 山下宗久)

*お手紙は編集部で要約・編集して掲載しました。

マラヤ大学予備教育課程

AMBANG ASUHAN JEPUN

前国際交流基金日本語教育派遣専門家

(派遣期間: 1995年5月～1997年5月)

現日本語国際センター専任講師

来嶋 洋美

き しま ひろ み



漢字を空中に書いて書き順を確認する

このコーナーでは、特色ある日本語教育を実践している機関の教師の方に、現場のコースデザインやコース運営の状況について、紹介していただきます。

1. はじめに

マレーシアには日本の大学に入学するための予備教育を行っている機関がいくつかあります。マラヤ大学予備教育課程は、中等教育を終了したばかりの学生たちが、日本語や主要基礎教科(数学、物理、化学、世界史、政治経済。以下、「教科」と略す)を勉強して、日本に留学する準備をするためのプログラムです。マレーシアの予備教育機関のなかで最も歴史があり、今までに1,300人以上の卒業生を日本の大学に送ってきました。日本留学を終えた多くの卒業生たちは、日本企業に就職して活躍しています。これから、AAJ (AMBANG ASUHAN JEPUN = GATEWAY TO JAPAN)と呼ばれているこのマラヤ大学予備教育課程について、報告しようと思います。

なお、この報告の3・4・5は1996年度の内容をもとにしています。

2. AAJとは.....

マレーシアは、東方政策 (LOOK EAST POLICY) という政策を行っています。これは、短期間で目覚ましい経済成長を遂げた日本や韓国のような東アジアの国を模範にしようとするものです。特に、日本の労働倫理や経済

哲学を学ぶために、マレーシアの学生や技術者を日本に送って勉強させています。AAJはこの東方政策の一つとして、マラヤ大学内で1982年にスタートしました。2年間のプログラムで、現在1年生と2年生合わせて約320人の学生がマレーシア全国から選ばれて学んでいます。約80%が理系、約20%が文系です。

このプログラムを教えている教師も様々です。まず、日本語は国際交流基金日本語教育派遣専門家とマレーシア人教師、そして現地雇用の非常勤教師(日本人)全員合わせて20名が教えています。また、1年生の教科はマラヤ大学のスタッフ(マレーシア人)がマレーシア語で教えます。そして、2年生の教科は、日本の文部省から派遣されている教師(日本人)が日本語で教えます。2年生の教科の教師は、皆、現職の高校教師です。

3. AAJの日本語教育の枠組み

(1) 授業時間

AAJでは週35～39時間の授業がありますが、そのうち日本語は1年生で週20時間、2年生で週11時間です。実質年間授業週は1年生32週/年、2年生33週/年です。日本語の授業がないときは、教科の授業が行われていすから、朝8時から、遅いときは夕方5時まで授業があ

表1 過当たり授業時間数

	日本語授業	教科授業
1年生	週20時間	週17～19時間 (マレーシア語使用)
2年生	週11時間	週24時間 (日本語使用)

文系17時間、理系19時間

り、学生たちは大変忙しい毎日を送っています。(表1)

(2) クラス編成

両学年とも能力別編成で、1996年度は、1年生は4レベル8クラス、2年生は3レベル7クラスありました。試験の結果でクラス替えをしますから、学生たちはいつも勉強に励んでいなければ、下のクラスに落ちてしまいます。反対に、頑張れば上のクラスに行くことができます。

(3) 目標

大学留学を目指しているため、AAJの日本語教育は主に読解力と聴解力の養成を目標としています。特に、読解力に力を入れています。実は聴解力の養成にも同様に力を入れています。作文や会話ももっと教えたいのですが、海外では物理的な制約が多く、また授業時間の問題もありますから、理想に近づくことはなかなか難しい問題です。

(4) 主教材

教材は、1、2年生共にAAJで開発した初級、中級教科書を使います。読解力の養成のために文型、語彙、漢字学習を主眼にして1986年から作られてきたものです(但し、1997年度入学の学生からは新しい教科書に変わります)(表2)

表2 AAJ教科書の文型レベル・漢字数・語彙数

	文型	漢字数 語彙数
1年生	初級	書き漢字 729字 約2500語
2年生	中級	書き漢字 365字 約4000語

(5) 試験

試験は、Semester III(第3学期)までは各学期に中間試験と期末試験が行われますが、2年生はこの外に日本の文部省が実施する文部省修了試験を受けます。修了試験は教科も日本語もありますが、日本語では読解、文法、漢字、語彙、聴解が出題されます。この試験に合格すれば、めでたく日本に留学できるというわけです。また、成績に直接影響するわけではありませんが、日本語能力試験も毎年受けています。1年生は3級、2年生は2級を受けます。(p.5 表3)

4. 授業の実際

(1) 1年生の場合：初級～中級入門期

さてここで、AAJの日本語の授業がどのように行われているかを説明します。

a レクチャー(週4時間)

1年生の場合、特徴的な点は、レクチャー・チュートリアル方式を行ってきたことにあるでしょう。レクチャーは、マレーシア語が英語を使用して文法説明をする講義です。マレーシア語が英語を使うと、より複雑な文法の説明ができるので、学習者は効率的に文法知識を得ることができます。そうして知識を頭に入れたら、今度はすぐに小さいクラスに分かれて、使い方を練習する。こうすれば、効果的な学習が期待できるという考え方で、このような方式が長年続けられてきました。

b 文法チュートリアル(週10時間)

小さいクラス(16～23名)に分かれて行う授業は、チュートリアルと呼ばれています。チュートリアルクラスは、日本語のホームクラスでもあり、1年生は全部で8クラスあります。週10時間ほど教科書を出てくる初級文型の基本練習や応用練習をします。また2～3課毎に文法テストをします。基本練習は形を正しく覚えるための練習です。動詞、形容詞の活用を覚えるのに、学生たちは苦心しているようです。応用練習は、少し複雑な文を書いたり、小さな会話をやったり、ゲームやタスク練習を取り入れたりして、できるだけ自然な状況設定のなかで文型を使う練習ができるような工夫を各教師がしています。海外では、生の日本語に触れる機会が少ないので、聴解テープを使った練習も取り入れるようにしています。さらに、読解力を養うことを目的に作られた数行の文をたくさん読みます。これは教科書に練習問題として載せられているのですが、毎時間、新しい語彙や漢字がたくさん出てくるので、予習をしないと授業についていけません。AAJでは読解力の養成が大きな目標になっていますから、初級のうちからこのような文を読む練習をします。

c 漢字チュートリアル(週4時間)

漢字は週4時間あり、毎回7～8字の新しい漢字を習います。学生はこの漢字を読むだけでなく、書けるようにならなければなりません。漢字にはほとんどの場合、読み方がいくつかありますが、AAJでは、新しい漢字の読み方を一度にできるだけたくさん提示することになっています。学生にとってはかなりの負担です。また、語

表3 2年間の授業と試験の流れ（1996年度）

	1年生		2年生	
	semester I	semester II	semester III	semester IV
授業内容	レクチャー（文法説明） チュートリアル 文法 漢字 会話 聴解	文法の 復習・ 作文・ 読解	チュートリアル 文法 漢字 読解 聴解 作文	特別授 業
試験	（中間）（期末）	（中間）（期末） （能験3級）	（中間）（期末）	（文部省試験） （能験2級）

semester I は、第1学期に相当する

彙リストにある新出語彙のうち、漢字で書かれているものは、まだ書き方は習っていないとしても、読めなければなりません。学生が継続的に漢字学習をするように、毎回の漢字クイズ、そして2～3課毎のテストをします。結果が悪ければ、追試を受けたり、宿題として何度も書き直したりします。AAJの学生は全員、生まれて初めて漢字を勉強するので、漢字の複雑な形やいくつもある読み方を覚えたりすることは本当に大変です。けれども、読解力につなげるために、このような厳しい方法がとられています。（表3）

d 会話チュートリアル（週1時間）

マレーシアでは、学生が教室以外で日本語を使う機会はないありません。しかし、一方で、日常の会話力は日本へ行った後でも十分に身につくということから、週に1時間だけ会話のための時間を設けています。文法演習でも、短い会話形式の練習をすることはありますが、その場合は、あくまでもそのとき勉強している文型に焦点をあてます。会話授業では、それだけではなく、それまでに学習した初級文型をいろいろ使って、できるだけ自然な日常会話を練習するタスク活動などをします。場面や機能で毎回の授業内容を決めています。言葉を実際を使う練習はたいいていの学生にとって、とても楽しいようです。

e 聴解（週1時間）

授業の名前は「聴解」ですが、実際の内容は聴解練習と、ビデオの視聴です。ビデオは年間を通して、『ヤンさんと日本人々』『続・ヤンさんと日本人々』を見ます。『ヤンさん』のビデオは、登場人物がユーモラスで、特に続編の方はストーリー性があって面白いので、学生も楽しみにしています。ほとんどの学生は日本へまだ行ったことがなく、彼らが日本の様子を知らずには、やはりビデオの力は大きいものです。ビデオ視聴の際、大切な言葉のディクテーションや内容確認のQAをした

り、全体のストーリーをまとめたり、日本の生活や文化に関する解説を教師から聞いたりします。

以上のような初級の授業が終わったら、文法の総復習をして、中級に入るための準備をします。読解については、接続詞、指示語、段落構成などに注意するといった読解の技術的な面に少したけ踏み込んだ指導をします。また、漢和辞典の使い方も指導します。中級に入ってから、難しい漢字があっても自力で調べられなければ困るからです。

(2) 2年生の場合：中級

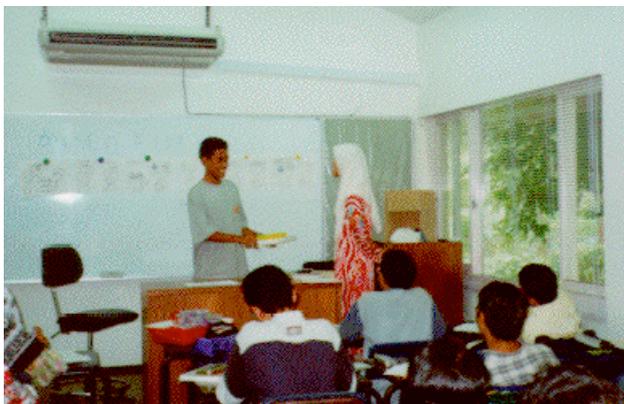
誌面の都合上、簡単に2年生の様子を紹介합니다。2年生も、やはりAAJオリジナル中級教科書を使って、授業が行われます。基本的に、中級文型の導入・練習が中心となります。似ているけれども使い方の違う文型をうまく理解させなければならないので、教師も授業準備怠りなく臨まねばなりません。1年生では週20時間ある日本語が、2年生になると11時間になりますから、読解作文、会話などしたいことは山ほどあっても、なかなか十分に時間がとれません。その上、1月の文部省修了試験に先駆けて、日本語能力試験も受けますから、学年の後半は、試験対策の時間もとります。

2年生の学生にとって、何よりもショックなことは、



文法チュートリアルの授業風景

買い物の会話を練習する学生たち



教科の授業が日本語で行われるということでしょう。1年生のときは、マレーシア語で受けていた授業です。マレーシア語でも、内容を完全に理解できたかどうかわからなかったのに、2年生では、日本人の先生が日本語で教えます。留学生用の教科書を使っている科目も一部ありますが、大半は日本の高校の教科書です。もちろん、教科担当の教師たちは、何とか理解してもらおうという工夫をします。それでも、初級を終了してまだ間もない学生たちにとって、日本語による教科は、使用言語、内容の両方において大変なハードルといえるでしょう。学生はみな留学試験に合格して日本へ行く夢がありますから、頑張るしかありません。

5. コースを充実させる工夫

AAJでは、学生に対して勉強や生活面、進路決定に關するカウンセリングを行っています。1年生では、日本語教師の半数がマレーシア人です。マレーシア人教師は、母語と文化を、学生と共有しています。それに自らも日本語学習者であり留学生であったので、学生の問題点がよくわかります。ですから、勉強や生活面で問題のある学生の相談にのったり、日本語の理解が遅れている学生に対して母語を効果的に使って指導するなど、学生にとっても頼りになる存在です。

このほかに、AAJではプログラムを充実させるためにいろいろな行事を実施しています。日本語力の関係から主に2年生に集中していますが、日本人会主催の盆踊り大会、日本人学校訪問、日本人家庭訪問、日本企業工場見学などを通して、現地の日本人社会に少しでも触れる機会としています。盆踊り大会は1年生も参加して、ゆかた姿の日本人といっしょに踊ったり夜店を見てまわったりする楽しい行事となっています。また、「先輩の体験を聴く会」では、AAJの卒業生で、マレーシアの日系企業で働いている社会人を招いて、日本での留学生活

の体験などについて話してもらいます。学生の動機付けに大きく貢献しているようです。

6. 課題

AAJでは、16年間という長い間、いろいろな工夫をしながら予備教育を行ってきました。しかし、まだまだ改めていかなければならないことがあります。

まず、海外で予備教育を行っている機関としては、日本に関する情報を学生が自由にアクセスできる環境をもっと整えていく必要があります。日本の社会、文化、生活、大学、日本語学習のための参考情報など学生が必要としている情報はたくさんあります。

次に、大きな目標としている読解の授業時間をもっと増やさなければなりません。読解力につなげるための基礎として初級・中級文型や大変な数の語彙、漢字を導入しますが、肝心の読解練習そのものの量が今のところ決して十分とはいえないからです。作文や会話の時間も切り詰めていますが、それでも読解練習の時間は十分にとれないでいます。

もう一つの問題としては、1年生が到達する日本語力と2年生の教科授業で求められる日本語力のギャップが大きすぎる可能性があります。つまり、2年生の教科授業は日本語で行われますが、要求される日本語のレベルが高すぎるため、学生たちが大変な苦勞をしているのです。これは深刻な問題です。何か対策を立てなければなりません。

さて、このようなAAJの問題は、もっと大きなレベルの問題につながります。つまり、日本語教育全体の問題として、さらに教科学習も含めた予備教育全体の問題になります。限られた授業時間のなかで、しかも海外で、どこまで学生の力をつけるのが妥当なのでしょうか。現実的なのでしょうか。これがはっきりしないかぎり、効果的な教育は行えないということです。実は、この問題は、留学生を受け入れる大学側が留学生に何を求めているかということと密接な関係があります。教育内容のすり合わせをして、予備教育から大学教育へのスムーズな連携を実現させる日が来ることが望まれます。それでも、そんな日を待っているだけではなく、AAJの日本語では1997年度から新しいカリキュラムを導入し始めたところです。学生たちの留学生活を支える日本語力をしっかりと身につけてほしいという願いをもって、AAJをより良いプログラムにしていきたいと思っています。

世界の 日本語教材

紹介

世界各国で制作された日本語教材

国際交流基金助成日本語教材

前編 韓国、オーストラリア、マレーシア、 カナダ、米国の日本語教材

最近、世界各国の各機関でそれぞれの目的に合った日本語教育用教材が制作されるようになってきました。しかし、世界各国で制作された教材の情報は、日本で刊行された教材の情報に比べて入手することが難しいのが現状です。

そこで、今回と次回の2回に分けて、国際交流基金の平成8年度（1996年度）「日本語教材制作助成プログラム」の助成を得て刊行された世界各国の日本語教材を紹介いたします。

自分の国以外で刊行された教材でも、母語が同じなら、そのまま利用できるかもしれません。また、近い関係にある言語同士なら翻訳がかんたんにできるという便利さがあるかもしれません。

この機会に多くの方に世界各国で刊行された教材について知っていただきたいと思ひます。

データ凡例

- ① 著者・编者
- ② 発行元
- ③ 使用言語
- ④ 定価

教科書

(テープ付き)

日本語・1

연세대학교 외국어학당 편



연세대학교 출판부

韓国

延大日本語

(Yonsei University's Japanese Textbook No.1 / Yonde Ilbono)

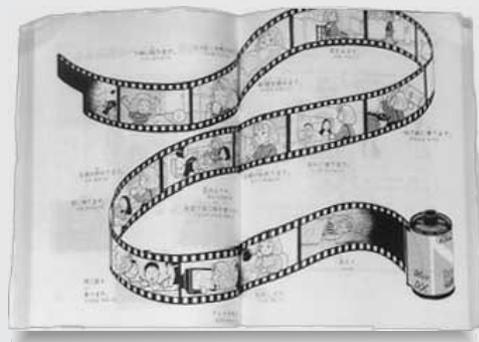
① 安酸弘子

② 延世大学校延世語学院 (ヨンセ テ ハッキョ ヨンセ オ ハクウォン)
(大韓民国 Seoul 市西大門区新村洞 134 番地 / Yonsei University, 134 Sinchon -Dong Seodaemun -gu Seoul, Korea / TEL:+82-2-361-3464 FAX:+82-2-393-4599)

③ 日本語、韓国語 ④ 20,000Won

延世大学校延世語学院 (ヨンセ テ ハッキョ ヨンセ オ ハクウォン) の初級クラス向け主教材。韓国全土の書店で発売予定。

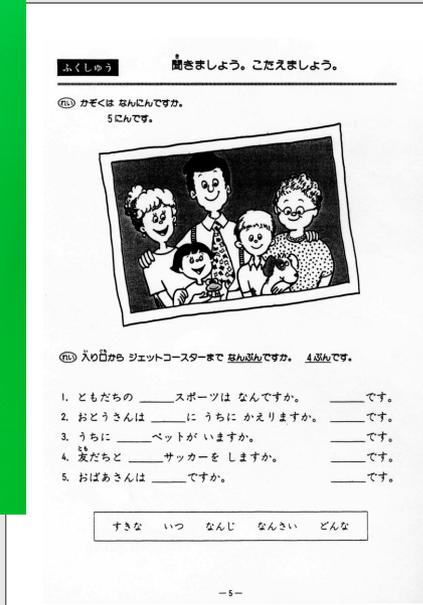
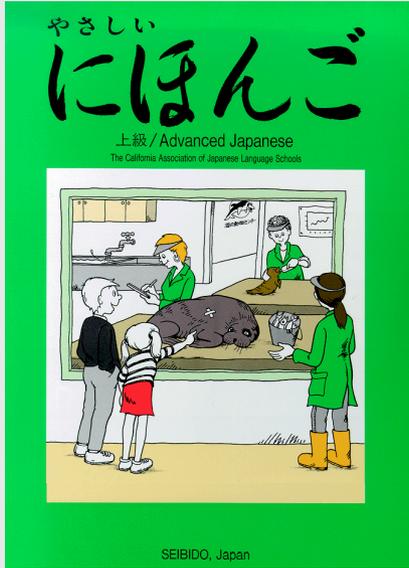
自習者も使用できるよう配慮されている。内容は初級文法、初級会話、聴解 (テープ1本付)。



教科書
きょうかしょ

米国
べいこく

やさしいにほんご 上級
（“Yasashii Nihongo” Advanced）

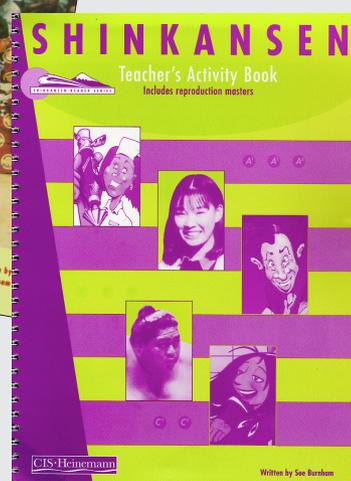


- ① The California Association of Japanese Language Schools
- ② The California Association of Japanese Language Schools / (3929 Middlebury Street Los Angeles, Calif. 90004 U.S.A. / TEL:+1-213-664-4941 FAX:+1-213-913-9728)
- ③ 日本語、英語
にほんご えいご
- ④ US\$21.00

『やさしい日本語』入門、初級、中級に続くシリーズの最終巻。
小学生の自由な発想を大切に対話や読み教材が工夫されている。

読解教材
どっかいきょうざい

オーストラリア
SHINKANSEN
（Reader Series）



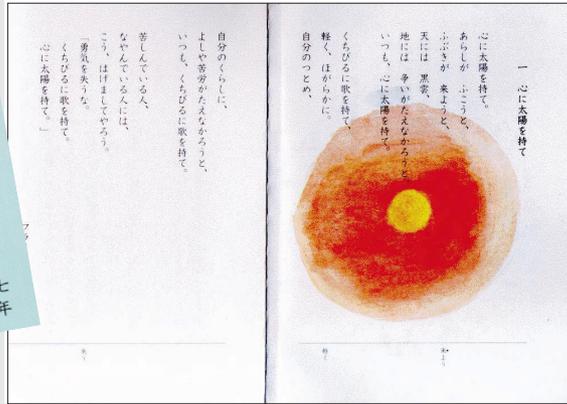
- ① Burnham, Suzanne Dawn
- ② CIS EDUCATIONAL (245-249 Cardigan Street, Carlton, 3053 Victoria, Australia / TEL:+61-3-9349-1211 FAX:61-3-9347-0175)
- ③ 日本語
にほんご
- ④ 読解教材A\$6.95 (5.50) 指導書
どっかいきょうざい しどうしょ
A\$19.95 (10.00) [かつこ内は自国
ない じこく
外定価]
がいてい か

中等教育レベルにおける初級学習者用の読解教材（8分冊）
カラー写真とイラストがたくさんあり、楽しく読みやすい。教師用指導書もある。

教師用指導書
きょうしりょうしどうしょ

読解教材
どっ かい きょうざい

カナダ
日本語 七年
にっ ぽん ご しちねん

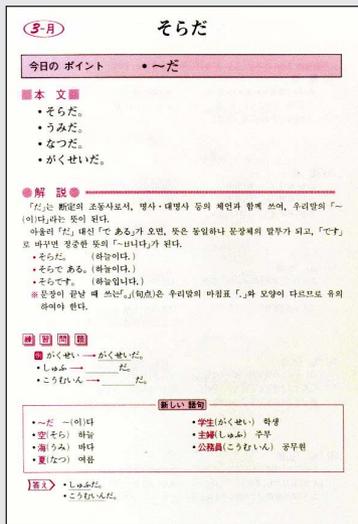


- ① 横山 超夫
よこやまたけ お
- ② BC JAPANESE LANGUAGE
TEACHERS ASSOCIATION (3690
Nanaimo St., Vancouver, British
Columbia, Canada V5N5H1 /
TEL:+1-604-433-4773 FAX:+1-
604-451-0887)
- ③ 日本語
にほんご
- ④ 教科書 C\$12、指導書 C\$6
きょうかしょ しどうしょ

『にっぽんご一年』からはじまるシ
リーズの7巻目。
「さけの一生」や「アンネの日記」な
ど7編の物語や詩からなる読解教材。

会話教材
かいわ きょうざい
(カセットテープ)

韓国
ポイント日本語の
カセットテープ



- ① 李 応壽 (イ ウンス) 中野 道夫、
高橋 万里子、尹明立 (ユン ミョンニ
プ) 呉成植 (オ ソンシク) ほか
- ② A.M.I.Co., Ltd. (大韓民国 Seoul 市
瑞草区瑞草洞 1422-6 源林 Bldg.6F
Wonlim Bldg.6F, 1422-6, Seocho-
Dong, Seocho-ku, Seoul, Korea
/ TEL:+82-2-3471-5114 FAX:+82-2-
3471-7321)
- ③ 日本語 ④ 32,000Won
にほんご

李 応壽 著 『ポイント日本語』を基に
したカセットテープ。
毎日5分ずつ、45週間で完成するよ
うにできており、片面30分間用のテ
ープ8本 (合計4時間分) に収録。

文法書
ぶん ぼう しょ

マレーシア
日本語の文法
(Japanese Grammar /
Nahu Bahasa Jepun)

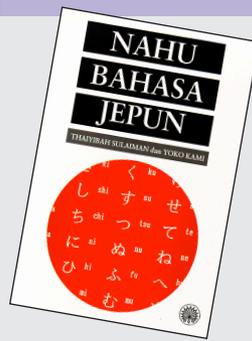
NAHU BAHASA JEPUN

kn + p (topik)	kn + p (subjek)	kadj. i + kkb
鼠 は 尻尾 が 長いです。 Nezumi wa shippo ga nagai desu.		
Tikus, ekornya panjang.		

(3) Penambahan komplemen kepada kata adjektif na
Komplemen yang diperlukan bagi kata adjektif na ialah topik, subjek atau objek ayat. Ada kala dalam sesuatu ayat itu topik dan subjek digunakan serentak seperti kata adjektif i. Berikut diberikan contoh kata adjektif na yang menggunakan objek.

kn + p (topik)	kn + p (objek)	kadj. na + kkb
りーさん は ばら が 好きです。 Rii-san wa bara ga suki desu.		
Cik Lee suka bunga ros.		

(4) Penambahan komplemen kepada kata nama
Komplemen yang diperlukan bagi kata nama ialah topik atau subjek ayat.
Contohnya:



- ① Sulaiman, Thaiyibah、上 洋子
かみ ようこ
- ② Language And Literacy Agency
(P.O. BOX 10803, 50926 Kuala
Lumpur, Malaysia / TEL:+60-
2481011 ext.511 FAX:+60-
2449614)
- ③ マレー語 ④ RM35.00
マレー語

基礎日本語文法の手引き書として使
える。
文の構造、品詞、名詞、動
詞、助詞などを分かりやすく解説。

視聴覚教材
（ビデオ教材）



オーストラリア
JAPANESE CULTURE
IN AUSTRALIA

- ①Dina Guest, Renata Aliani, Lisa Frazer
- ②Broadening Horizons Through Language Project Team, Directorate of School Education, Victoria (P.O. Box 4367 Melbourne 3001 Australia / TEL:+61-3-9628-3723 FAX:+61-3-9628-2003)
- ③英語 ④A\$30.00/set

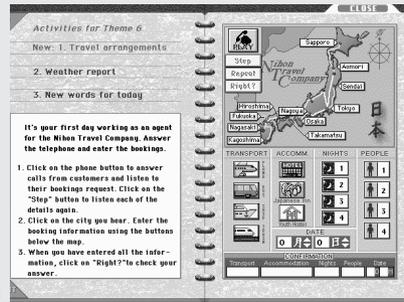
オーストラリアにおける日本人コミュニティーでの生活、産業や文化を紹介するビデオ教材。

The Secondary Access to Language via Satellite (SALS) プログラムにて使用予定。

視聴覚教材
（CD-ROM）



オーストラリア
JAPAN ALBUM
CD-ROM



- ①Ipace Institute Unisearch Professional Education, The University of New South Wales
- ②Ipace Institute Unisearch Professional Education, The University of New South Wales (The University of New South Wales, Sydney 2052 Australia / TEL:+61-2-385-3175 FAX:+61-2-662-6566)
- ③英語 ④A\$100

授業・自習両用のCD-ROMを使った中等用日本語マルチメディア教材（WindowsとMacintoshの両方に対応）。

日本語と日本文化が同時に学べる。

今回は、韓国、オーストラリア、マレーシア、カナダ、米国の日本語教材を紹介しました。次回の30号では、中国、メキシコ、ブラジル、イタリア、ドイツ、ブルガリアの日本語教材を紹介する予定です。

なお、このページで紹介されている教材に関する問い合わせは、データ中の発行元に直接おたずねください。

日本語教材制作助成プログラムについて

このプログラムは、世界各国で自主的に開発された日本語教材の刊行に際し、出版経費の一部を助成するものです。その目的は、各国・各地域の事情や学習者の母語に対応した教材の刊行を促進することによって、各国現地における日本語教育の基盤を強化することにあります。

助成の対象となるのは、教科書・参考書・辞書や、CD-ROM・ビ

デオテープなどの日本語教育用の語学教材に限りません。日本をテーマにして書かれた一般図書や日本研究学術図書は対象となりません。

プログラムの詳細については、日本語国際センター制作事業課、または最寄りの基金海外事務所が在日日本公館におたずねください。

問い合わせ先

国際交流基金日本語国際センター制作事業課

〒336 埼玉県浦和市北浦和5-6-36

TEL:+81-48-834-1183 FAX:+81-48-831-7846



例文) 祖母はゲームの中の動物がえさを食べたり大きくなったりするのを見て目を丸くした。

「腰を抜かす」 たいへん驚く

例文) もし200年前に生きていた人が飛行機や新幹線を見たら、腰を抜かすだろう。

「舌を巻く」 すばらしくて感心する

例文) 10歳の少年のすばらしい演奏に、大人の音楽家たちも舌を巻いた。

同じ「驚く」ことを表す慣用句でも、慣用句によって驚き方の程度や何に驚くかが違います。紹介したり理解を確認したりするときには、上のような例文を作って、状況を説明させることが大切でしょう。

いろいろな教室活動

1) いくつかの慣用句の意味や使い方を学習した後で、慣用句の意味を考えた絵を書かせ、クイズを作らせる(絵A、絵B、絵Cを参照)

例

絵A 目を細める.....うれしいとき、かわいいものを見るとき、ほほえむ

絵B 鼻が高い.....自慢したり、得意に思う

絵C 首を長くする.....楽しみに待つ

2) 慣用句を使って自分のことや身の回りのことについて文を作らせる

例

目がない 大好きだ

・私は、甘いものが好きで、特にケーキには目がない。

口が重い あまりしゃべらない

・父も私も口が重いので、二人でいると会話が続かない。

絵A



(答) 目

絵B



(答) 鼻

絵C



(答) 首

*クイズのことは、母語でもいいでしょう。

談話分析

ことばはどのように使われているか

国立国語研究所 日本語教育センター 西原 鈴子
日本語教育指導普及部長

このコーナーでは、これから研究を目指す海外の日本語の先生方のために、日本語学・日本語教育の研究についての情報をおとどけています。今回のテーマは談話分析です。

1. 談話分析の目的

「談話」は、ことばがコミュニケーションのために使われるときに作る、文脈を持ったまとまりのことです。「ディスコース = Discourse」または「テキスト = Text」と呼ばれることもあります。「談話」には、話された談話と書かれた談話があります。「談話」は、機能・構造・運用の面でその構成要素である「文」とはちがうので、それを明らかにすることが「談話研究」あるいは「談話分析」と呼ばれる研究の目的です。

研究には大きく二つの傾向があります。一つは、談話がその構成要素である文や語をどのように組み合わせて作られるかという、談話の情報構造に注目する流れです。久野（1978）牧野（1980）はこの流れの研究例です。もう一つは、人がことばを使ってどのような伝達行動を行うかという対人関係の言語運用に注目する流れです。語用論（Pragmatics）の領域に深く関係しています。メイ（1996）はそのすぐれた解説例です。

情報構造の側面では、「は」の提題機能、「コソアド」の指示機能などが研究の対象になります。対人関係の側面では、発話の対人機能が研究の対象になります。たとえば「今晚いっしょに食事をしませんか」という文は、「否定疑問文」ですが、談話の中では「勧誘」という機能を持っていると考えられます。そのように、言葉がど

のような目的で使われるかを、談話の対人機能として分析するのです。ただし、研究のこの二つの流れは、はっきり分かれているわけではなく、複合的に組み合わせられて研究されています。

談話分析では、たとえば、「食事に誘う」という「勧誘談話」を達成する過程で、どのようなことばが使われるのかを調べ、複数の文のつながりがどのように展開するかを記述します。談話のまとまりの中で、どのような「主題 = Theme」と「叙述 = Rheme」が情報の流れとして組み合わせられるかを分析することもできます。同時に、ことばの「くりかえし」「照応 = Anaphora」「省略 = Ellipsis」「隣接ペア = Adjacency Pair」「話し手の交替 = Turn Taking」「ポーズ = Pause」のような展開の仕組みに注目することもあります。

ことばを学習する場合、学習者は文の構造だけでなく、実際の場面や状況の中で文がどのように使われるのか、つまりその言語の「談話」のしくみ、を習得しなければなりません。ですから、言語教育に関わる人々にとっては、談話分析はことばの実際の使われ方を明らかにする貴重な資料を提供してくれる研究分野ということが出来ます。

2. 談話分析の方法

談話の研究は、書かれた談話も話された談話も、徹底



して「なまの資料 = Raw Data」からの帰納的分析方法をとります。頭の中で考えたことばではなく、実際に使われたことばを記録し、その中に見いだされる傾向や規範を見つけだしていくのが談話分析の方法です。特に、「会話分析」と呼ばれる分野では、可能な限り自然なことばのやりとりを記録してそれを忠実に再現し、その中にくりかえし表れる方略 (Strategy) を発見しようとしています。そのためには、ことばのやりとりだけでなく、イントネーション、ポーズ、話し手の交替の順番、話し手の間のことばの重なり、なども記録することになります。

現在よく研究されているのは、機能によって分類された談話です。「依頼 = Request」「拒否 = Refusal」「謝罪 = Apology」「勧誘 = Invitation」「主張 = Assertion」などがそれにあたります。また、伝達手段によって分類された談話も多くの研究の対象になっています。書かれた談話では「手紙」「新聞記事」「広告」など、話された談話では「電話会話」「座談」「物語」などがあります。日常生活の場面でおこる「教室談話」「買い物行動」「初対面の会話」などが研究の対象となることもあります。その他、談話参加者の種類によって「大学の講義」「議会演説」「母と子の会話」「女性同士の会話」等に分類される研究もあります。

3 . 日本語の談話に見られる特徴

書かれた談話、話された談話の分析を通して、日本語の談話の特徴が次第に明らかになってきました。メイナード (1993) は、日本語会話のあいづちの多さ、終助詞など聞き手めあての表現の多さなどを例として、日本語の会話は「自己コンテキスト化」しやすいという特徴があ

ると書いています。メイナードによって「自己コンテキスト化」と名付けられた、話すときに周囲の状況に注意して自分だけを強く押し出すことを避ける戦略は、Hinds (1976) では日本語会話の衝突を避けようとする傾向として分析されています。ザトラウスキー (1993) は、日本語の電話会話の分析を通じて、話し相手の反応を予測して対応する「気配り発話」の存在を特定しています。これらの研究は、日本語の談話の特徴を説明するために役立つ成果を生みだしているのです。

4 . 談話構造の「転移」と日本語教育への課題

以上挙げたような日本語の談話の特徴は、日本語を学習するときに学習者側の習得上の問題となることがあります。たとえば、日本語で電話しているときに、日本人から「もしもし、聞いている？」と言われた人は、日本人のようにひんぱんにあいづちをうたなかつたのでしょうか。そこで、相手の日本人が不安になり、本当に話を聞いているのか確かめたくなったわけです。この人は英語の母語話者だったので、日本語で話しているときにも、英語の会話の中でのあいづちと同じ頻度でしか「はい... ..はい.....」と言わなかつたのでしょうか。このような現象を、第一言語から学習する対象となる言語への談話パターンの「転移 = Transfer」といいます。

日本語教育に関係する人々は、学習者が無意識のうちにならぬ彼らの第一言語の談話パターンの転移を行ってしまうということに気づいて、その問題の解決を考えなければならぬと思います。そのために談話分析の成果を大いに活用することを希望します。

参考文献

久野 暲 (1978) 『談話の文法』大修館書店
 国立国語研究所 (1983) 『談話の研究と教育』大蔵省印刷局
 国立国語研究所 (1987) 『談話行動の諸相 - 座談資料の分析 -』三省堂
 国立国語研究所 (1988) 『談話の研究と教育』大蔵省印刷局
 ザトラウスキー・ポリ (1993) 『日本語の談話の構造分析 - 勧誘のストラテジーの考察 -』くろしお出版
 寺村秀夫他編 (1990) 『ケーススタデ

ィ 日本語の文章・談話』桜風社
 牧野成一 (1980) 『くりかえしの文法』大修館書店
 水谷信子 (1985) 『日英比較 話しことばの文法』くろしお出版
 メイ・ヤコブ (澤田治美他訳) (1996) 『ことばは世界とどうかわるか Pragmatics』ひつじ書房
 メイナード・泉子・K (1993) 『会話分析』くろしお出版
 Coulthard, Malcom (1977) An Introduction to Discourse Analysis, Longman

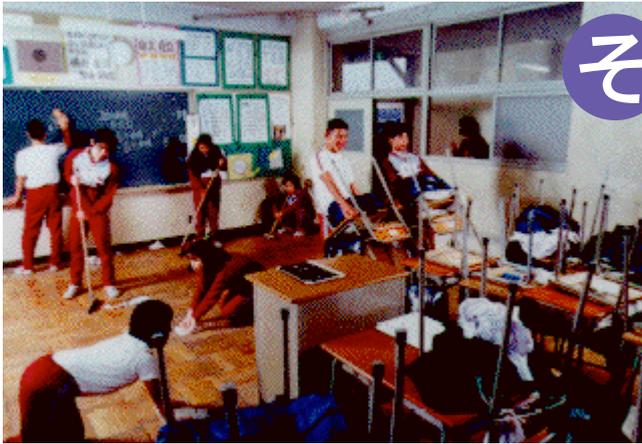
de Beaugrande, Robert & Wolfgang Dressler (1981) Introduction to Text Linguistics, Longman
 Hinds, John (1976) Aspects of Japanese Discourse Structure, 開拓社
 Hinds, John (1986) Situation vs. Person Focus (日本語らしさと英語らしさ) くろしお出版

* 談話分析に関する論文は数多く出版されていますが、今回は公刊図書のみを挙げました。



写真で見る
日本人の生活

高校生の放課後 ~ 学校がおわってから ~



そうじ

日本の中学生や高校生は、ふつう、授業がおわると、そうじをします。

そうじをするところは、教室や、ろうかや、とくべつな教室などです。ふつう、5~6人でグループを作って、そうじをします。

学期のおわりには、時間をかけていないにそうじをします。これを「大そうじ」と言います。

中学生や高校生の多くは、放課後に部活動を行います。部活動には、文化部と運動部の2つがあります。

文化部には、びじゅつ部、音楽部、えんげき部などがあります。写真の部活動は、プラスバンド部です。



運動部

部活動

文化部

運動部には、野球、サッカー、バスケットボールなどがあります。ふつう、運動部は文化部より活動する時間が長いです。とくに大きな試合の前などは、毎日練習をします。

テニス、サッカー、野球などが人気があります。写真の部活動は、女子のテニス部です。





このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している日本語教育用「写真パネルバンク」シリーズを使って、初等中等教育機関で日本語を教える先生方がどのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は初級の学習者でも読めるようにやさしいものを使いました。今回は、日本の高校生が授業のあとで、どんなことをしているかを紹介します。

ファーストフード

高校生は、放課後、おなががすくと、よくファーストフードの店に行きます。ファーストフードの店は安いし、たくさんあって、長くおしゃべりができます。ふつう、高校生はハンバーガーやフライドチキンの店に行きますが、日本にはすしやそばのファーストフードもあります。



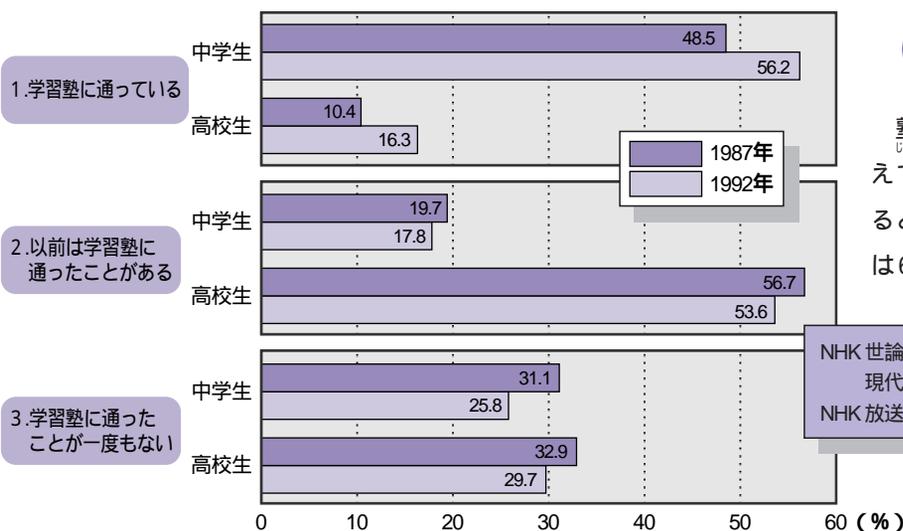
東京や大阪など大きな都市では、たくさんの子供たちが放課後に塾にかよっています。塾とは、学校のあとに通って勉強するところです。勉強の塾のほかに、英語や書道やそろばんの塾もあります。

高校生は、放課後に予備校に行く人が多いです。予備校は大学に入るために特別な勉強をする塾です。

塾 予備校

ふえる塾通い

塾に通う中学生、高校生がだんだんふえています。1992年のアンケートによると、中学生では2人に1人、高校生では6人に1人が通っています。



NHK 世論調査
現代中学生・高校生の生活と意識 第2版
NHK 放送文化研究所世論調査部編 1995より作成



「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。紙面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っている则便利な図書・資料」などを取り上げます。

データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 ページ数 6 定価(税込) 7 その他

“日常生活での会話に必要なルールが学べる教科書”

『なめらか日本語会話』

データ

- 1 富阪容子 2 アルク (〒168 東京都杉並区永福2-54-12 / TEL:03-3323-1001 FAX:03-3327-5211)
- 3 1997年1月
- 4 4-87234-635-1 5 163 ページ
- 6 2,039 円

教科書会話からの脱出

教科書の会話と実際の日本人の会話がちがっているために学習者が混乱させることがよくあります。実際は、初級レベルの日本語なのに何かが違うために学習者にはむずかしい、教科書で習った日本語と違うと感じさせてしまうことがあります。この教科書には、教科書で習った日本語と実際の話し言葉の違いに戸惑わないようにするための会話のルールが整理されています。日本で生活しながら日本語を勉強している人はもちろん、海外で勉強してこれから日本で生活しようとする人にも役立つでしょう。

整理された会話のルール

教科書は三つのパートに分かれています。PART1 音の変化、PART2 会話の形式、PART3 会話の目的です。各PARTの内容は右の目次を見てください。

まず、その課で勉強することの説明(英訳付き)があり、2~3 往復の会話例、練習問題、聞き取り練習と続きます。初級終了程度の学習者でも無理なく学習できらうようになっています。

きるように、漢字には必要に応じてルビがふられ、また、会話例や練習問題で使われている語彙も初級終了程度におさえてありますので、会話のルールだけに専念して勉強できます。各課は2時間ぐらいで勉強できるようになっています。

楽しい聞き取り練習

聞き取り練習の会話はとても工夫されています。必要に応じて効果音が入っていますし、会話を聞き終わったときに思わず笑ってしまうような楽しい会話にしています。学習目的をはっきりさせるために多少話し方に不自然さはありますが、あまり気にならないでしょう。付属のテープには、会話、その内容についての質問が録音されています。

使い方いろいろ

PART1、PART2 は、もし手に入るならばビデオ(ビデオ教材だけでなく、日本のテレビドラマや映画など)やまんがをいっしょに使うといいでしょう。音がどのように変化しているか、どんな助詞が話し言葉で省略されるかなどのタスクを与えて練習することができます。PART3 では、各課の学習内容に適した場

面を与えて、ロールプレイをさせると効果的でしょう。また、各課の練習問題は、語彙・表現の復習にも使えますし、宿題にもできます。必ずしも1課から順番に進める必要がないので、副教材としての利用もいろいろ考えられるでしょう。

助詞の省略
Omitting particles

「を」がよく省略されます。前後の文章の内容から意味がはっきりしてて、まちがえることがない場合には「が」「に」「へ」「行く」も省略されます。けれども、その他の「に」「や」「で」「と」などの助詞を省略すると意味が通じなくなります。また、文の主題としての「は」は、話し言葉ではよく省略されます。

In informal conversations, a is often omitted. When the meaning of a sentence is clear due to the phrases preceding and following a particle, and no error can be made in judging the meaning of the entire sentence, ga and ni/te/ni/ni are often omitted. However, it proves difficult to understand sentences when particles like yo, ya and de (excluding the ni used in ni/ku) are omitted from a sentence. Also, we which signifies the subject of a sentence, is often omitted in conversations.

Example conversations

- 母 「何(を)してんの?」
娘 「見てわかんない? まんが(を)読んでるの」
母 「ところで、今日の試験(は)どうだった?」
娘 「まあまあね。」
- 女A 「ちょっとテープレコーダー(を)貸して。音楽(を)録音するの」
男B 「ああ、いいよ。終わったら、ここに置いて。」
- 女客 「運転手さん、次の角(を)右にまがってください?」

目次
CONTENTS

FOREWORD
Foreword
How to use this book
構成と使い方
Foreword
To the students

PART 1 音の変化
Sound Change

- 11 で/と/へ/と/へ
- 12 ちや/じゃ/きゃ
- 13 たって/だって
- 14 って/で
- 15 ん
- 16 変化した言葉 Words which change

PART 2 会話の形式
Conversations

- 17 助詞の省略 Omitting particles
- 18 短縮句 Contracted phrases
- 19 決まり文句 Set expressions
- 20 くり返し Repetition
- 21 あいまい表現 Ambiguous phrases
- 22 語順の変化 Changes in word order

PART 3 会話の目的
Speech Functions

- 23 会話を始める Carrying on a conversation
- 24 話を切り出す Branching different subjects
- 25 答える Responses
- 26 反応を見ながら話す Speaking while watching the listener's reaction
- 27 あいづち Words of encouragement
- 28 確かめる Confirmation
- 29 主張を出せる Making assertions
- 30 お礼を言う/あやまる Expressing appreciation/Apologizing
- 31 文句を言う/答える Complaints/Responses
- 32 申し出るを断る Turning down an offer
- 33 問いかける Asking questions

会話表現索引 Index
解答 Answers

“文型や語彙の使い方を学ぶ初級ビデオ教材”

ぶんげい ごい つか かた まな しょきゅう きょうざい

『新日本語の基礎 復習ビデオ』

しん にほんご きそ ぶくしゅう

データ

1 海外技術者研修協会 2 スリーエネットネットワーク (〒101 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル / TEL:03-3292-5751 FAX:03-3292-5754) 3 1996年12月 6 復習ビデオI、会話ビデオI、II 10,500円 復習ビデオII 12,720円

ドラマで復習する文型や語彙

ぶくしゅう ぶんげい ごい

この教材は、「新日本語の基礎I、II」(各25課)を九つに分け、それぞれの範囲内で学習した文型や語彙、表現を使って作られたドラマをビデオ化したものです。一つ一つのドラマは10分程度のもので、内容は、次のような構成になっています。

- 「いっしょに飲みませんか」(1～7課)
「あの映画が見たいです」(8～13課)
「気をつけてください」(14～19課)
「傘がないと困るでしょう」(20～25課)
「宝くじ」(26～30課)
「今日から社会人」(31～35課)
「冬美がんばる」(36～40課)
「地震」(41～45課)
「秘密の指輪」(45～50課)

前半の～は初級レベルで、ある会社に勤める4人の20代の男女の日常生活を描いています。後半の～は初中級レベルで、祖父、両親、20代の子供2人の、ある5人家族にふりかかるいろいろな事件をコミカルに描いています。使われている文型や語彙が限られているため、特に前半の4話は、会話の運び方や話すスピード、人間関係による言葉の使い分けなどに不自然さやぎこちなさが見られます。しかし、文型積み上げ方式で日本語を学習している初級レベルの学習者が、自分たちが今までに勉強してきた文型や語彙、表現をどのように使った

ら、現実の場面でコミュニケーションでやるのかを確かめるのに役に立ちます。

ドラマのいろいろな使い方

ビデオ教材は、少々わからない言葉や表現があっても、映像を追うことによって内容を推測し、理解することができるという利点をもっています。ですから、教師が工夫すれば、学習者のレベルに合わせていろいろな使い方を考えることが

できます。たとえば、ビデオを見た後で、ドラマの内容を簡単な日本語で説明させたり、途中でビデオを止めて話の続きを想像させたり、音を消して会話文を作らせたり、あるいは同じような場面でのドラマを学習者自身に作らせ、クラスで発表させたりすることもできます。

ドラマから日本人の生活を学ぶ

後半の5つのドラマは、会話の進め方や言葉の使い方が自然な日本語に近く、またトピックも上に挙げたように現代の日本人の生活や考え方を知らせてヒントになりそうなものが選ばれています。ですから、初中級レベルの簡単な日本語の授業にも利用することができます。たとえば、第6話「今日から社会人」は、大学を卒業して会社に入ったばかりの新入社員がどのような研修を受け、どのように仕事をしていくかを簡単に紹介しています。このビデオをもとにして『働きすぎ』と

言われる日本人の仕事の仕方について考え、話し合うことができるでしょう。他に第5話「宝くじ」や第8話「地震」なども現代の日本人の生活を考える上でおもしろいヒントを与えてくれます。

最後に、この教材とは別に、同じ「新日本語の基礎I、II」の各課の「会話」をそのままビデオ化した「会話ビデオ」も発売されていますので、いっしょに紹介しておきます。



新入社員の研修は厳しい.....(第6話「今日から社会人」より)



地震はいつ起こるか分からない.....(第8話「地震」より)



人と人がぶつかって.....(第3話「気をつけてください」より)

pp.18～21は、以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

前田網紀、坪山由美子、百瀬侑子、木山登茂子、木谷直之、小坂昌子

まえだ つなき ちばやま ゆみ こ もも せ ゆう こ き やま と も こ き た に なお 昌子 こさかまさこ

“現代日本のようすについて学ぶ教科書”

『話そう考えよう 初級日本事情』

データ

1 福岡日本語センター「日本事情」プロジェクト 2 スリーエーネットワーク (〒101 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル / TEL:03-3292-5751 FAX:03-3292-5754) 3 1997年4月 4 4-88319 -081-1 5 72ページ 6 1,050円

この本は、現代の日本の習慣、社会的常識、日本人の考え方などについて基本的な知識を身に付けることができる本です。この本が考えている学習者は、日本で日本語を勉強する人ですが、海外で日本語を勉強する人たちも使えます。初級のレベルに合わせて字を少なくし、絵や白黒写真、統計資料で、現在の日本社会について様々な情報を示しています。漢字には全てふりがながついています。

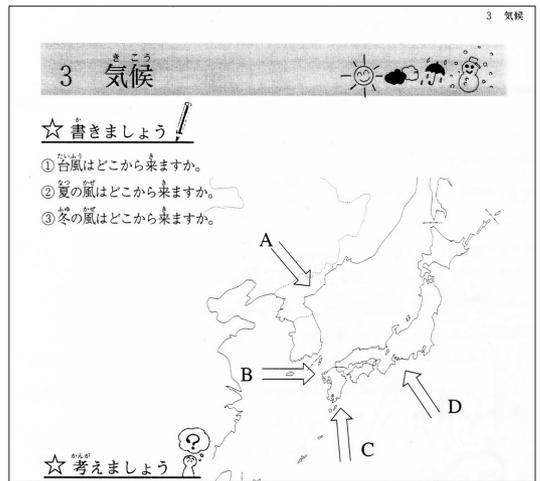
構成は、大きく三つの部分に分かれます。

す。第1部は生活編で11章 第2部は地理編5章、第3部は社会編の11章です。各章には「知っていますか」「考えましょう」「書きましょう」のうち、どれか一つのタスク(課題)があります。一部のタスクの答は巻末に出ています。このタスクの名前が示すように、この本は学習者が日本について、自分で考え、その考えを日本語で表現すること(話したり、書いたりすること)を求めています。

各章のテーマに沿ったキーワードがページの下の方にまとめられています。そして巻末にはキーワードの索引もあります。第1部から第3部へ進むにしたがって、語彙や文型が難しくなります。しかし各章の内容は独

立していますから、テーマを選んで勉強したり教えたりすることができます。

この本には教師用指導書もついていません。こちらには、各章ごとに「学習目標」と「授業で準備するもの」、テーマに沿った説明が書かれていますが、漢字にふりがなはありません。



p.28

“類似表現の違いをわかりやすく教えるための参考書”

『類似表現の使い分けと指導法』

データ

1 日本語教育 誤用例研究会 2 アルク (〒168 東京都杉並区永福2-54-12 / TEL:03-3323-1001 FAX:3327-5211) 3 1997年2月 4 4-87234-653-X 5 231ページ 6 2,243円

日本語の学習の段階が少し進んだとき、学習者がよくする質問の一つに、意味や使い方がよく似ていることばの使い分けに関するものがあります。本書では、このようなことばを類似表現と呼び、類似表現を教える際に必要なことばの知識と指導上のポイントを項目ごとに簡潔にまとめています。

取りあげられている項目は、「うっかり」「つい」「思わず」「すむ」「くらす」「気持ち」「気分」「機嫌」「～ず」「～ずに」「～なくて」「～ないで」など、品詞

はさまざまですが、どれも学習者の疑問に対して明確に答えることが難しいものばかりです。各項目は、「問題点」「意味・用法」「まとめ」「指導上のポイント」から構成されています。イラストをつけてわかりやすくしているものもあります。巻末には、例文の適否の判定の根拠になったアンケート調査の方法とその結果の一部が収録されています。

本書の特徴は学習者の学習段階に合わせた例文の与え方や指導のポイントが示されている点です。具体的な教室での指導法や何をどこまで提示するかに関しては教師ひとりひとりが考えなければなりません。それらを決めるために「意味・用法」「まとめ」「指導上のポイント」は役に立ちます。また、ここで取りあげられていないことばについて指導する場合にも、意味や用法の整理のし方や指導

法について本書からヒントが得られるでしょう。



p.23

“指導を視野に入れ誤用を分類整理した辞典”

『日本語誤用例文小辞典』

データ

- 1 市川保子 2 凡人社 (〒102 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1階 / TEL:03-3263-3959 FAX:03-3263-3116)
- 3 1997年1月 4 4-89358-366-2
- 5 460ページ 6 2,854円

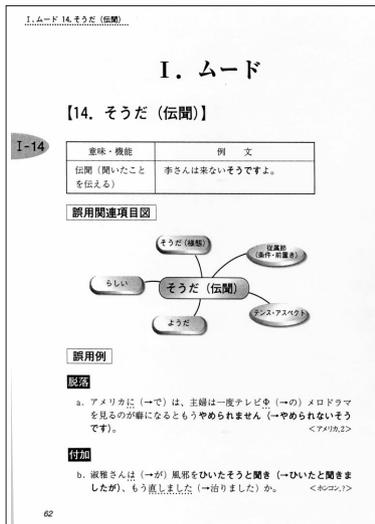
ある言語を学習するときに、誤用は避けられません。それを前提として、問題が2点あります。学習者の立場からは、ある表現が誤用かどうかということ、教師の立場からは、誤用があった場合、それをどう指導するかということです。普通の辞典では、正しい表現は書かれています、誤用は書かれていません。また、学習者をどう指導するかについても書かれていません。しかし、この辞典にはどちらも書かれています。

この辞典の日本語を理解するためには、

上級以上の日本語力が必要でしょう。この辞典の構成は次のようになっています。まず文法的観点から誤用を8分野に分類しています。8分野とは、ムード、テンス・アスペクト、自動詞・他動詞・ヴォイス、やりもらい、取り立て助詞、

格助詞・連体助詞・複合助詞、連用修飾・連体修飾、従属節です。これらがさらに、下位の86項目に分けられます。たとえば、ムードには「らしい」「ようだ」など20項目があります。従属節には、条件節の「たら」「ば」「と」「なら」などがあります。どれも日本語教育でよく取り上げられる問題です。

各項目は、まず意味・機能の説明と例文が提示され、次に以下の4要素が述べられています。誤用関連項目図、誤用例文、誤用の傾向、指導のポイント。は、誤用項目が関連する項目を網羅的に図示しています。は、誤用例文



で、6種類に下位分類されます。例文は、約千です。これらは実際の学習者の作文からとられ、レベルは初中級です。各例文に学習者の国名と学習年数が付いています。は、誤用の傾向と原因を説明しています。は指導に役立つ点を簡潔に述べています。

“日本語でレポート・論文を書く人のためのワークブック”

『大学生と留学生のための論文ワークブック』

データ

- 1 浜田麻里、平尾得子、由井紀久子
- 2 くらしお出版 (〒112 東京都文京区小石川3-16-5 / TEL:03-5684-3389 FAX:03-5684-4762)
- 3 1997年4月
- 4 4-87424-127-1 5 187ページ
- 6 2,625円

書名からもわかるように、この本は、レポート・論文の書き方を実際に練習するための本です。

日本人大学生や日本で学ぶ留学生を対象にして作成されたものですが、学習者の日本語力や目標を考慮して教師が内容を取捨選択したり、口頭での説明を詳しくすれば、海外の大学や大学院でも使うことができます。

全体の構成は次のとおりです。

基礎編 「よく使われる文の形」「よく使われる語と表現」「引用」「句読点」「表記規則」「まとめと練習」から成り、論文を書くために必要な基本的なルールについて説明と練習があります。

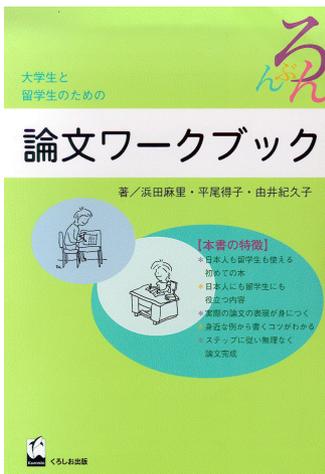
論文編 論文の基本的な構成である「序論」「本論」「結び」について、その役割、書き方の説明などがあります。また、「日本は豊かか」というテーマで論文を書くという課題が出され、実際に論文の書き方が練習できるようになっています。

資料編 論文でよく使われる表現、論理の展開の方法、論文の

付属要素(表題、要旨、キーワード、目次、付記、注、参考文献、付録)の書き方について、説明と練習があります。練習問題の解答をまとめた別冊の「解答編」がついていて、独習用としても使えるようになっていますが、問題によっては解答例がないものもあるので、海外

の学習者が独習用として使うには限界があるようです。

なお、この本を終わるまで学習するためには、学習者は上級レベルの日本語力を必要としますが、教師が「基礎編」の部分を用いて工夫して教えれば、中級レベルの学習者に対象にしても使えます。



海外日本語教育 Q & A

かいがい にほんご きょういく

このコーナーでは、海外で日本語を教えるときに、教師が直面すると思われる問題を取りあげ、質問に答える形で、読者のみなさんの参考になる情報を提供していきます。

Q 学習者が日本語の学習にあまり熱心ではない場合、教師はどのようなことに注意をして授業の工夫をすればいいのでしょうか。

A 日本語がその学校の外国語必修科目なので学習しなければならない中学生・高校生の場合はもちろんのこと、自分が勉強したいと始めて始めた大學生や社会人でさえ、途中で日本語の勉強がいやになることがあります。それには色々な原因や理由があるのだと思います。

たとえば、日本語国際センターで研修を受けている海外の日本語教師（日本語を母語としないノンネイティブ教師）は、学習者の日本語への興味・関心について、次のような問題をあげています。

「学生は日本語が難しいために好きにならない」
(タイ・大学教師)

「学習者の興味を保ち続けさせることが難しい」
(フィリピン・市民講座教師)

「学生はいったん日本語が難しいと思ってしまうと勉強しなくなり、上達しない」
(ニュージーランド・高校教師)

「漢字が難しいと感じて日本語に対する興味をなくす学習者がいる」
(インド・市民講座教師)

「日本語が大学入試科目から除外され、生徒たちの関心が薄い」
(韓国・高校教師)



まとめてみると、「日本語は難しく大変だ」「授業に興味を持たない」「日本語学習の目的がわからない」などと感じた学習者は、日本語の勉強に興味を失うのだと言えそうです。

では、日本語の学習に興味を持ち続けさせるために、どのような努力をすればいいのでしょうか。教師が現場でできるいくつかの方法を考えてみたいと思います。問題は学習者の年齢や学習目的によって異なる場合がありますが、ここでは共通する点について取りあげます。

学習の目的・目標を明確にする

それぞれのコースでの日本語学習の目的を学期のはじめに話しておくことが必要です。

また、コース全体の予定を知らせて、コースの終わりには日本語でどのようなことができるようになるのか説明しましょう。同時に、各授業時間のはじめには、その日の授業の目標をはっきりと言います。たとえば、「今日の授業の目標は、自分の趣味について説明できるようにすることです」と言ってから、必要な語彙、句型、表現などを導入し、練習をします。

日本語でコミュニケーションができるようになる授業を計画してみる

日本語でコミュニケーションができるようになったと学習者に実感させるような授業を計画することも大切です。たとえば、実際に会話ができるようになったり、手紙のやりとりができるようになったりすることです。特に、学習者にとって外国語で自己表現ができるようになること（話せる・書ける）は、「もっと勉強したい」という気持ちを強めることとなります。それには、学期のはじめにシラバス（学習項目）を決めるとき、コミュニケーションを実現できるようにするシラバスを作ること

が必要になります。

文法・句型中心のシラバスの教科書を使っている場合は、少し工夫が必要です。実際場面での会話ができるようになるためには、各課に出てくる語彙・文型のほかに必要な表現などを足さなければならぬことがあるからです。また、その時間の目標も「『～は～が好きです』という句型がわかる」というように句型を示すのではなく、「自分の好きなこと・好きな物について説明できたり、友達の好きなこと・好きな物について質問できる」というように句型や表現を使って実際にできることを目標とします。

「日本人の友達を食事に誘う」「日本人の友達に年賀状を書く」などのように、学習者が実際に日本語を使用する場面を考えて、目標を設定することによって学習者の興味を増やすことができます。

授業に変化を持たせる

教師の説明を一方向的に聞くような受け身の授業では、学習者の興味は続きません。1回の授業の中にいろいろな教室活動を入れて、授業に変化をつければ、学習者の興味を保つことができます。教科書のひとつの課を教えるときには次のような授業の流れがあります。

導入（新しい学習項目を示す） 基本練習（正確に覚えるためのある程度機械的な形の練習） 応用練習（実際に使えるようになるための練習）

また、新しい語彙を覚えるための練習用ゲームにもいろいろあります。文字カードと絵カードを合わせるゲーム、ビンゴ、クロスワードパズルなどです。学習者の興味に合わせて工夫してみてください。

学習意欲を高める副教材・生教材を使う

教科書を使うだけではなく、教材に変化をつけることも学習意欲を高める方法です。副教材としては、実物、絵、写真、地図、漫画、ビデオ、会話や歌のテープなどいろいろあります。日本からの資料が手に入らない場合は、自分の国で出版された日本関係の資料や雑誌の写真なども教材になるでしょう。

ときには、自然な生の日本語（新聞の記事・広告、日本のテレビ放送の録画など）に触れる機会を持つことは、



日本語の時間にペアワークをする学生たち（タイの高等学校で）

学習者の好奇心を強める上で効果的でしょう。また、近くに日本人がいれば、教室に呼んで学習者と話す機会を作ることもいいでしょう。

明るく協力的なクラスの雰囲気を作る

ことばを学習するときに、不安や緊張が強いと、学習の効果があがりません。協力的な明るい雰囲気のあるクラスを作ることが必要です。そのためには、教師はリラックスし、学習者を緊張させないようにしましょう。また、グループ活動を取り入れ、学習者同士のコミュニケーションをはかるようにしましょう。

また、教室の雰囲気作りのために、いすや机の並べ方、教室の飾りつけなども工夫してみてください。

学習意欲を高めるような評価をする

積極的に話そうという学習者を増やすためには、学習者の発言の誤りを直すときにも注意が必要です。まず、学習者の「よくできている」点を評価しましょう。会話の授業などでは誤りを直しすぎると、学習者は発言することを恐れるようになってしまいます。また、誤りを訂正すること以上に大切なのは、なぜ間違ったかその原因を分析してみることです。特に、大勢の学習者が間違えた場合は、教師がそれらの間違いを整理して、わかりやすくフィードバックしましょう。

誌面の都合で、ひとつひとつの項目について詳しく説明することができませんでしたが、別の機会に、具体的な例を紹介していきたいと思えます。

担当：百瀬侑子（日本語国際センター専任講師）



ニュース

ドイツで最初の国家資格を取得した 日本語教師誕生

ドイツ・バイエルン州で、ギムナジウム（日本の中学・高等学校にあたる）教職員のための初めての日本語科目教員国家試験が行われました。

その結果、唯一の受験者であったウーテ・ロードラー女史が合格し、1997年5月にドイツで最初の国家資格を取得した日本語教師が誕生しました。

バイエルン州のギムナジウムにおける日本語教育は25年にわたって行われ、ドイツで最も長い伝統を有しています。本年は4つのギムナジウムで日本語授業が行われている他、来年はさらにもう一校が加わる予定です。

日本語教育論集「世界の日本語教育」 第7号発刊

日本語国際センターが編集・発行している日本語教育論集「世界の日本語教育」の第7号が発刊されました。この論集は、世界各国で行われている日本語教育

編集部から

『日本語教育通信』の読者の皆さんは、国際交流基金のホームページをご存じでしょうか。国際交流基金のホームページは1996年12月に開設されました。このホームページには『日本語教育通信』の紹介ページもあり、『通信』創刊号から第27号までの目次が載っています。

今までは目次だけを載せていましたが、第28号以降については『通信』の全文を載せる計画をしています（詳しくは、次号でお知らせいたします）。これはできるだけ多くの方に『通信』を読んでもらいたいからです。

ここに掲載するニュースは、国際交流基金日本語国際センターが入手した日本語教育に関する情報の一部です。各ニュースについて、問い合わせ先がわかっている場合には明記してありますので、詳細はそちらへお尋ねください。

*この欄にふさわしい情報やニュースがありましたら、下記までお寄せください。

国際交流基金日本語国際センター 情報交流課 〒336 埼玉県浦和市北浦和5-6-36
Research and Information Division, The Japan Foundation Japanese-Language
Institute, Urawa, 6-36 Kita-Urawa 5-chome, Urawa-shi, Saitama 336, Japan

や日本語研究分野の研究成果を紹介するために毎年発行しているものです。第7号では、各国から投稿された論文81編の中から選ばれた17編が掲載されています。

なお、本論集は国内外の主要な日本語教育機関に寄贈されるほか、市販もしておりますのでご利用ください。（定価2,200円）

市販についての問い合わせ先：

株式会社 凡人社

〒102 東京都千代田区平河町1-3-13

菱進平河町ビル8階

TEL 03-3263-3959 FAX 03-3263-

3116



関西国際交流団体協議会作成の

『関西の日本語教室ダイレクトリー』と

『関西の日本語教室まっぷ』完成

『関西の日本語教室ダイレクトリー』

は、B5版の冊子で、大阪を中心に134の日本語教室を掲載。開催場所の地図や開催日時、費用、保育の有無、学習者の特徴などのほか、日本語教室以外に行っている活動や「ひとことアピール」なども掲載しており、各教室の雰囲気や特徴がわかるようになっています。また、各教室のボランティアの募集方法、条件なども掲載しており、希望者には実費（1冊2,000円、郵送料400円）で送付もします。

『関西の日本語教室まっぷ』は、各府県の地図に日本語教室の場所と連絡先、最寄り駅、開催時間を明記。A3版の地図で、日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語の9言語で作成。無料で配布しています（送料実費負担）。

問い合わせ先：

関西国際交流団体協議会

〒543 大阪府大阪市天王寺区上本町

8-2-6 大阪国際交流センター2階

TEL 06-773-0256

編集部には個人の方々から送付の希望が寄せられますが、印刷部数の関係で、残念ながら現在は内外の日本語教育機関だけに送付しています。ホームページに『通信』の全文を載せることにより、こうした個人の方々の希望に応えられることを期待しています。

（国際交流基金ホームページのアドレスは、<http://www.jpfi.go.jp/>です）

（情報交流課 平林豊文）

*編集部では、『日本語教育通信』に対するご意見や皆さんの学校の状況などを書いたお手紙をお待ちしています。

『日本語教育通信』 第29号

1997年10月発行

発行・編集

国際交流基金 日本語国際センター
情報交流課

〒336 埼玉県浦和市北浦和5-6-36

TEL 048-834-1184 FAX 048-830-1588

編集協力

財団法人 国際文化交流推進協会

The Japan Foundation

Japanese-Language Institute,
Urawa(6-36 Kita-Urawa 5-chome,
Urawa-shi, Saitama 336, Japan)

© 1997 by The Japan Foundation

（表紙イラスト：村井宗二）